



平成27年度 当初予算・組織の概要

平成27年2月17日

基本理念

「選ばれるまち ふじえだ」づくり

第5次藤枝市総合計画

「ふじえだ2020グランドデザイン スマイルプラン」

元気共奏・飛躍ふじえだ

～元気つながる、笑顔ひろがる。～

平成27年度 重点方針

- ◆第2期市長マニフェストの確実な実施
- ◆将来を展望した第5次総合計画後期計画の策定
- ◆人口拡大に向け「ひと・しごと＝活力」を藤枝に呼び込む戦略的な施策の展開
- ◆健全な財政運営、人財育成など、自立した基礎自治体づくり

平成27年度重点戦略

I 「いのちと子ども」を 未来につなげる

- ◆危機管理体制の強化
- ◆子育て支援の充実
- ◆4つの日本一に向けた取組
- ◆安定的な医療の提供
- ◆女性の活躍を推進

II 「人と人、都市と都市」を つなげる

- ◆市民活動の推進
- ◆広域連携の推進
- ◆国際交流、国内交流の促進
- ◆多様な主体との連携

III まちの「宝」を活かし、 各方面につなげる

- ◆シティ・プロモーションの推進
- ◆藤枝の“宝”に磨きをかける
- ◆人を呼び込む仕掛けづくり

IV まちの「活力」を高め、 将来につなげる

- ◆市内経済の活性化(産業の振興)
- ◆都市空間の創造
- ◆都市基盤の充実
- ◆市役所全体の更なる「質」の向上

1. 当初予算・組織の概要



平成27年度予算の特徴

★1 過去最大の積極型予算を編成！

(467億8,000万円 (4)幸せ(6)無限大。(7)なが〜く(8)ハッピー)

★2 市債残高の大幅な縮減を実現！

(H20比 約200億円(1年間の市税収入額)の縮減)

★3 市民の今後の負担額を約6割削減！

(H20末: 175,000円/人→H27末: 75,000円/人)

(1) 予算の規模

全会計予算規模
実質・過去最大!

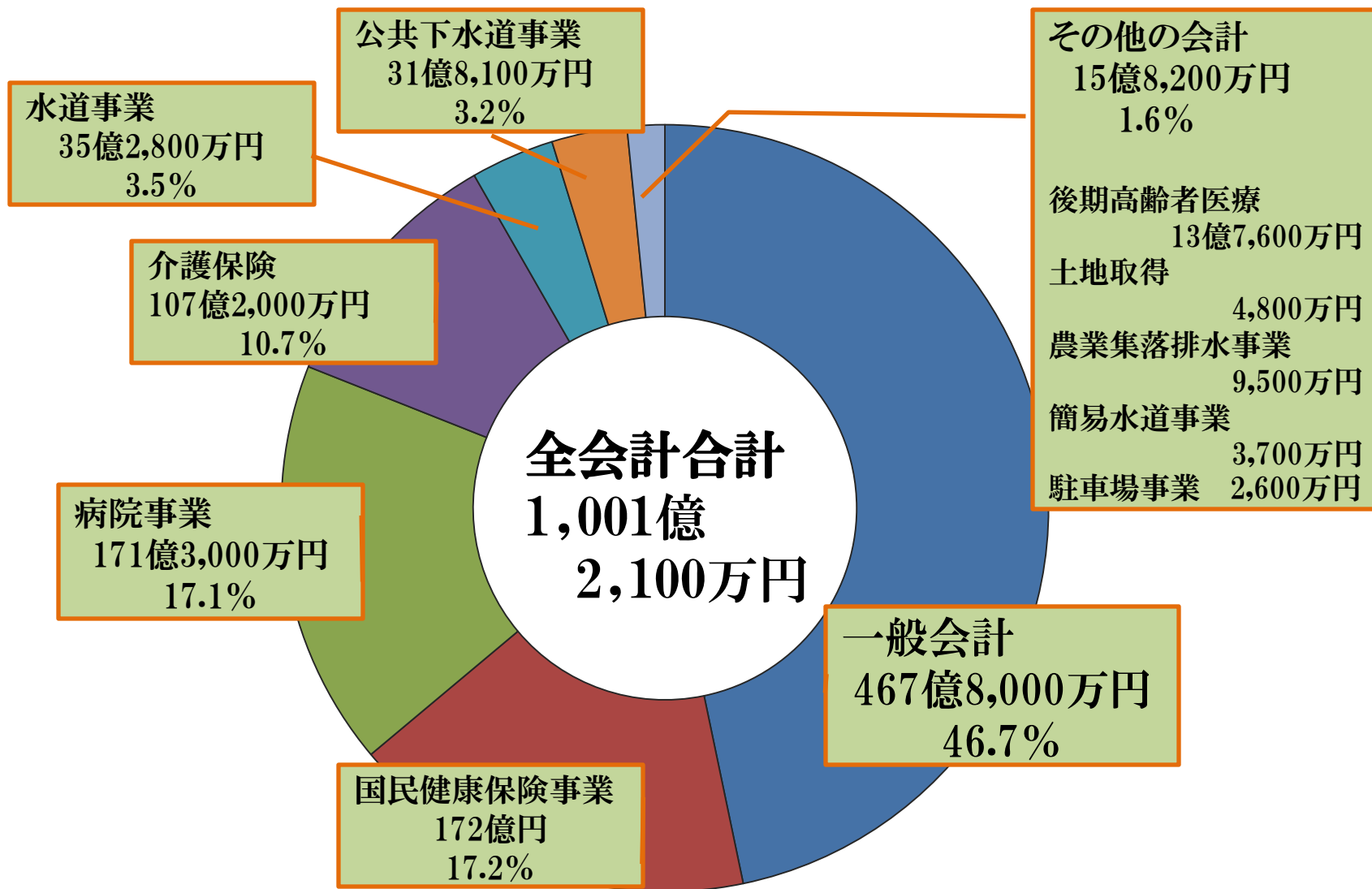
○全会計

(単位：百万円)

区 分	H27当初	H26当初	増 減	伸 率
一般会計	46,780	44,880	+ 1,900	+ 4.2%
特別会計	32,683	31,986	+ 697	+ 2.2%
企業会計	20,658	23,972	△3,314	△13.8%
合 計	100,121	100,838	△717	△0.7%

※実質・過去最大とは、H26の企業会計の会計制度変更の特殊要因
(各種引当金の一括計上約35億円)を除く。

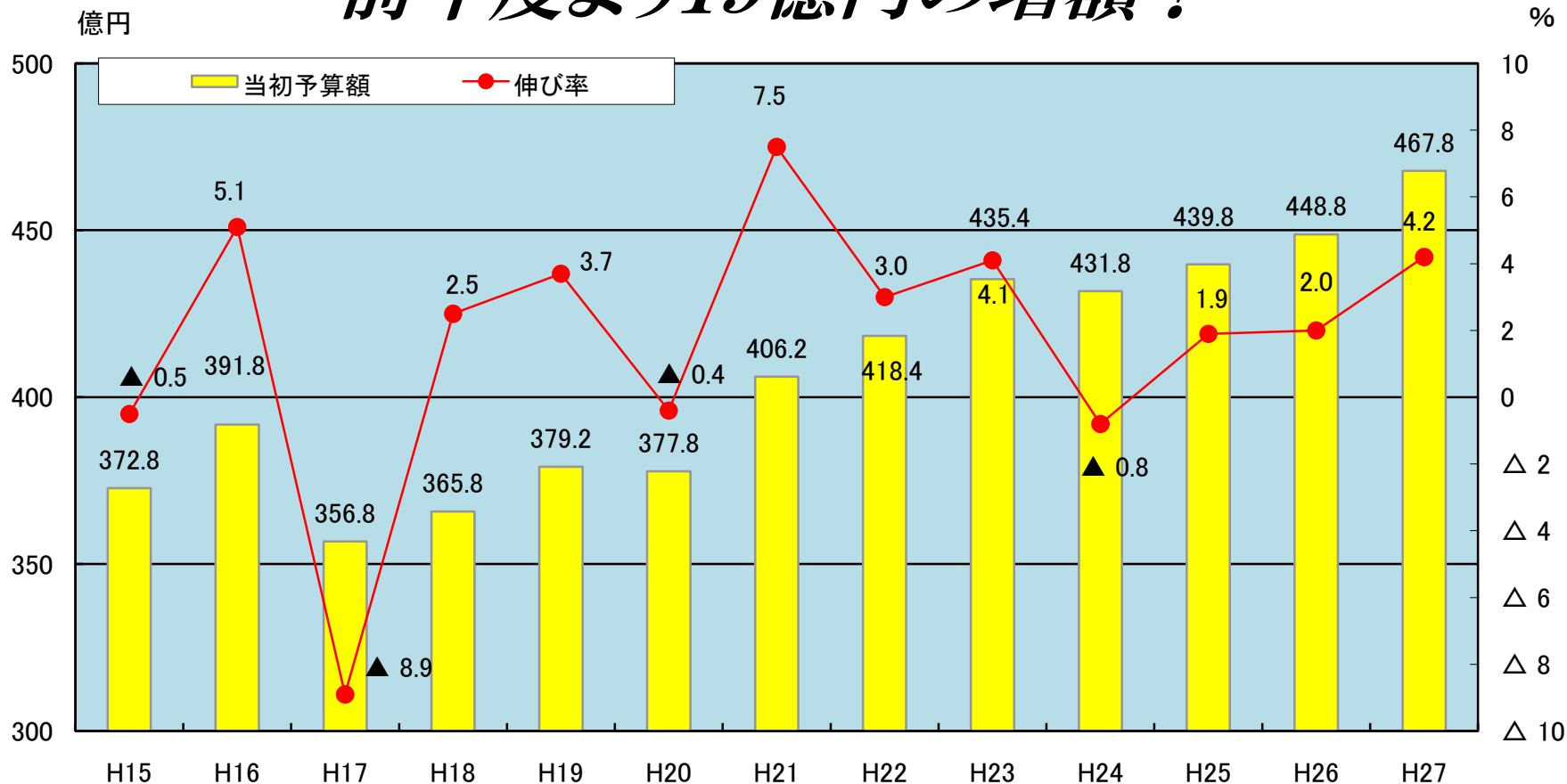
平成27年度 会計別予算構成



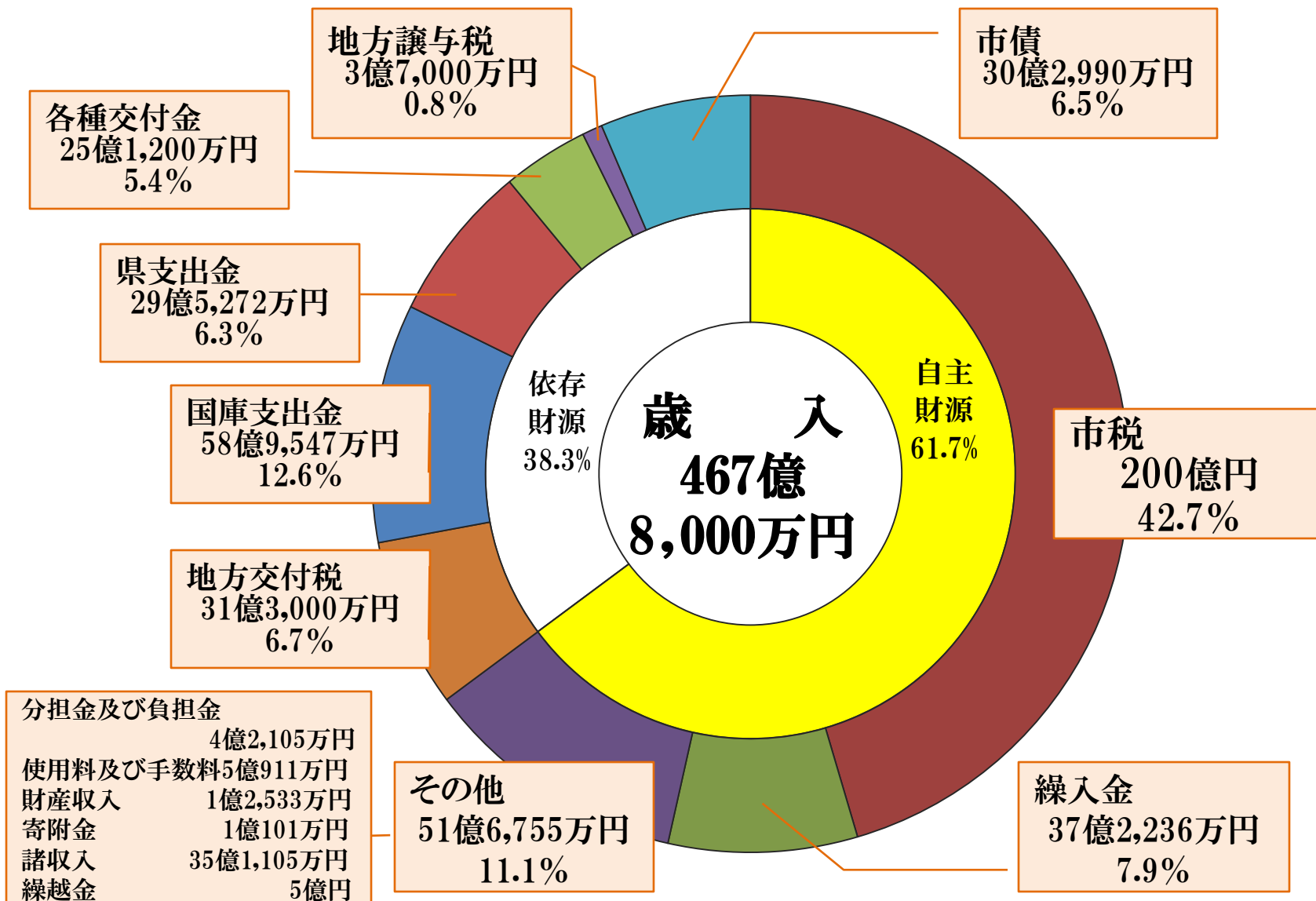
(2) 一般会計予算額の推移

市民の幸せと豊かさに向けた積極型予算

前年度より19億円の増額！



(3) 平成27年度 一般会計歳入予算内訳



主な歳入予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

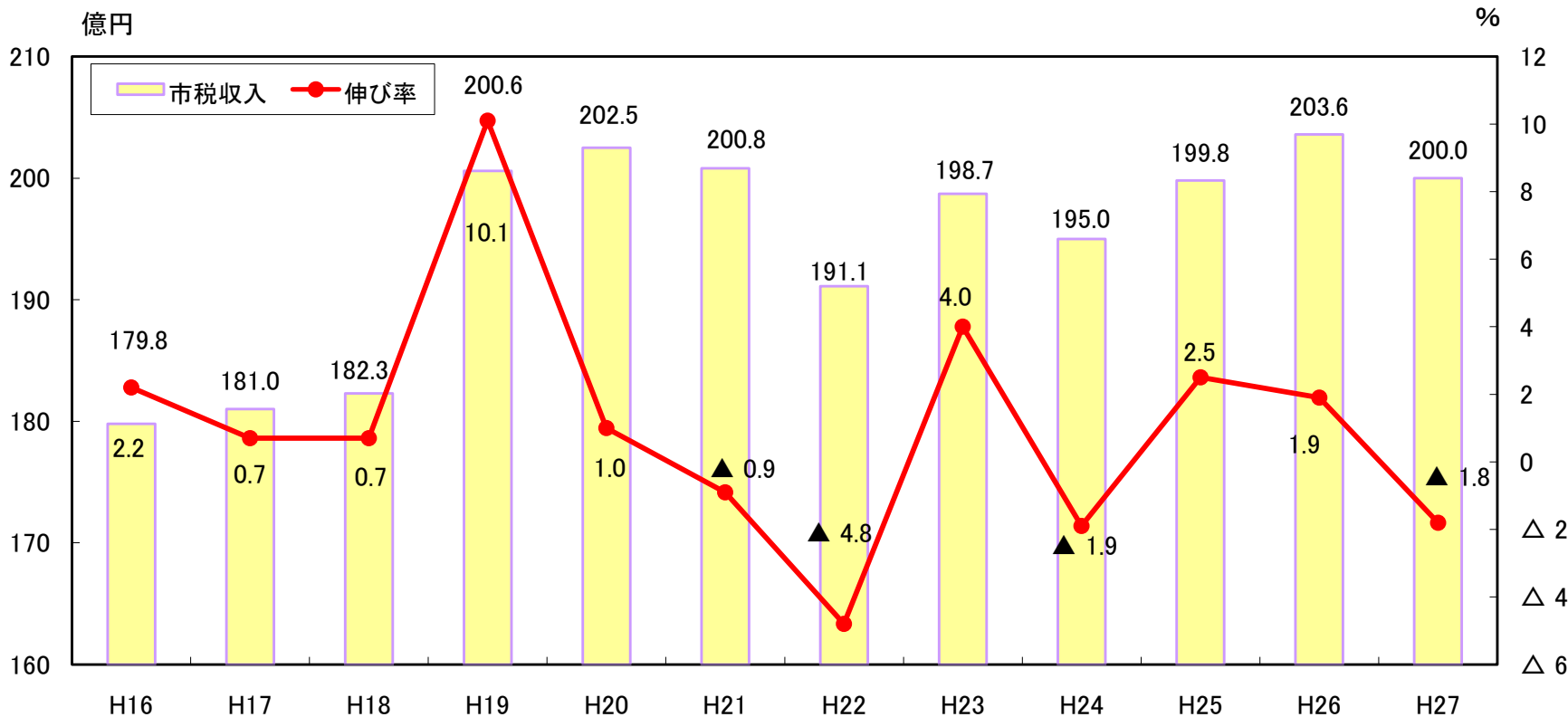
市 税	200億円	▲ 3億6,000万円	▲ 1.8%
	家屋の評価替えによる固定資産税の減		
地方交付税	31億3,000万円	▲ 3,000万円	▲ 0.9%
	国の地方財政計画（通常収支分▲0.8%）相当分の減		
利子割交付金等 各種交付金	25億1,200万円	+ 7億7,500万円	+ 44.6%
	国の地方財政計画に基づく増（うち地方消費税交付金 +7億5,000万円）		
国庫支出金	58億9,547万円	+ 12億3,957万円	+ 26.6%
	民生費負担金の増、社会資本整備総合交付金の増		
県支出金	29億5,272万円	▲ 6,306万円	▲ 2.1%
	民生費負担金の増、強い農業づくり交付金の減		
繰 入 金	37億2,236万円	▲ 2億2,604万円	▲ 5.7%
	土地開発基金の減、財政調整基金の増		
市 債	30億2,990万円	+ 3億3,420万円	+ 12.4%
	社会教育施設整備事業債、都市計画事業債の増 国の地方財政計画（通常収支分）に基づく減（臨時財政対策債）		
その他 ※	55億3,755万円	+ 2億3,033万円	+ 4.3%
	ふるさと応援寄附金、避難所等太陽光発電設備導入推進事業費助成金		

※その他は、円グラフの「その他」と「地方譲与税」を合計した数字です

(4) 市税の推移

※ 増減は対前年度当初予算比較

市税合計	200億円 ▲ 3億6,000万円 ▲ 1.8%
------	--------------------------

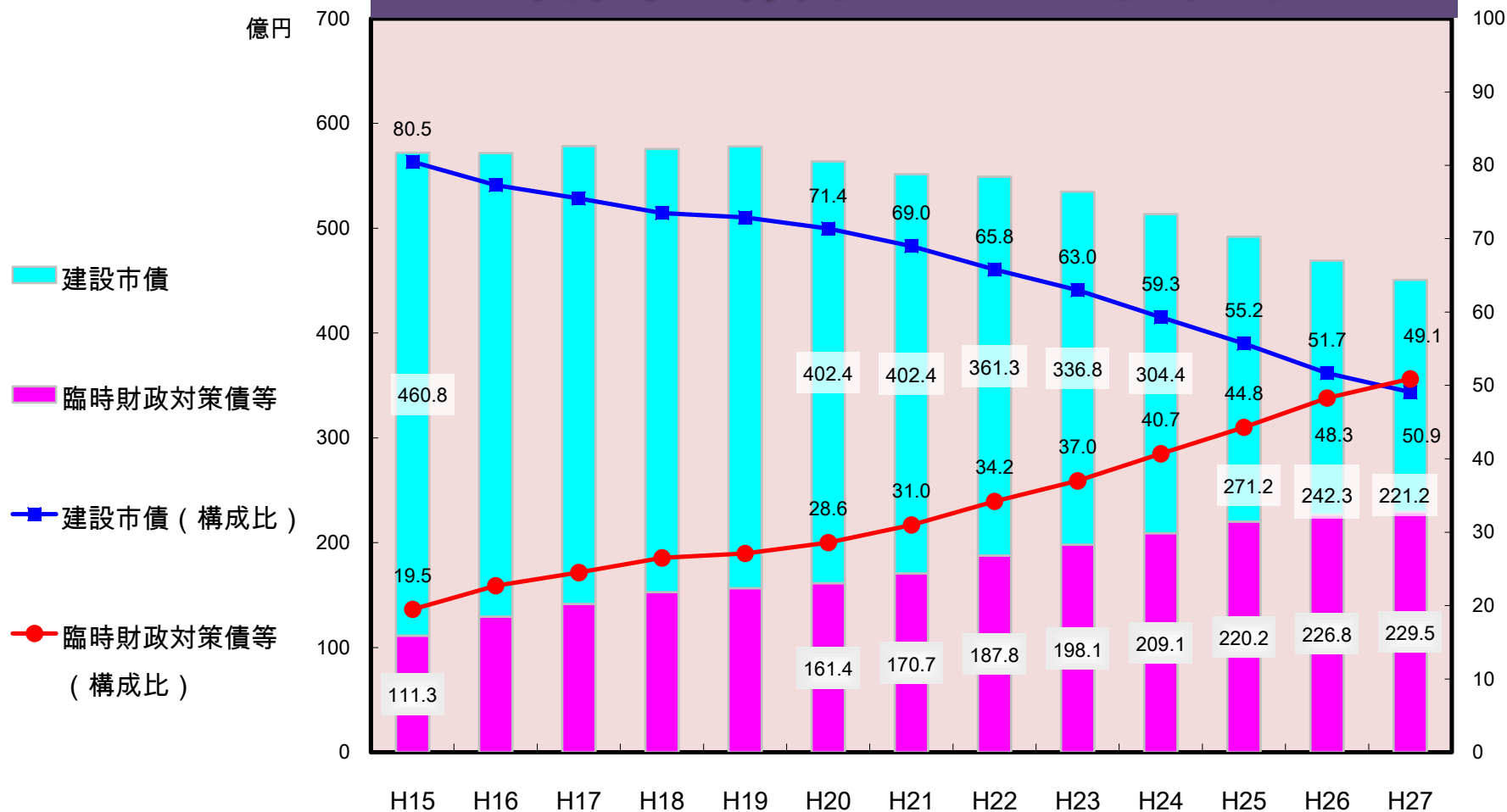


※ H20以前は岡部町との合算



(5) 一般会計市債残高の推移

着実に減らしています！



臨時財政対策債＝国が償還金を全額負担（＝実質的な地方交付税）



各会計別の市債残高の推移

経費節減に努め、新規借入を抑制

⇒全会計合計で

約200億円削減

の見込（平成20年度比）

単位：億円

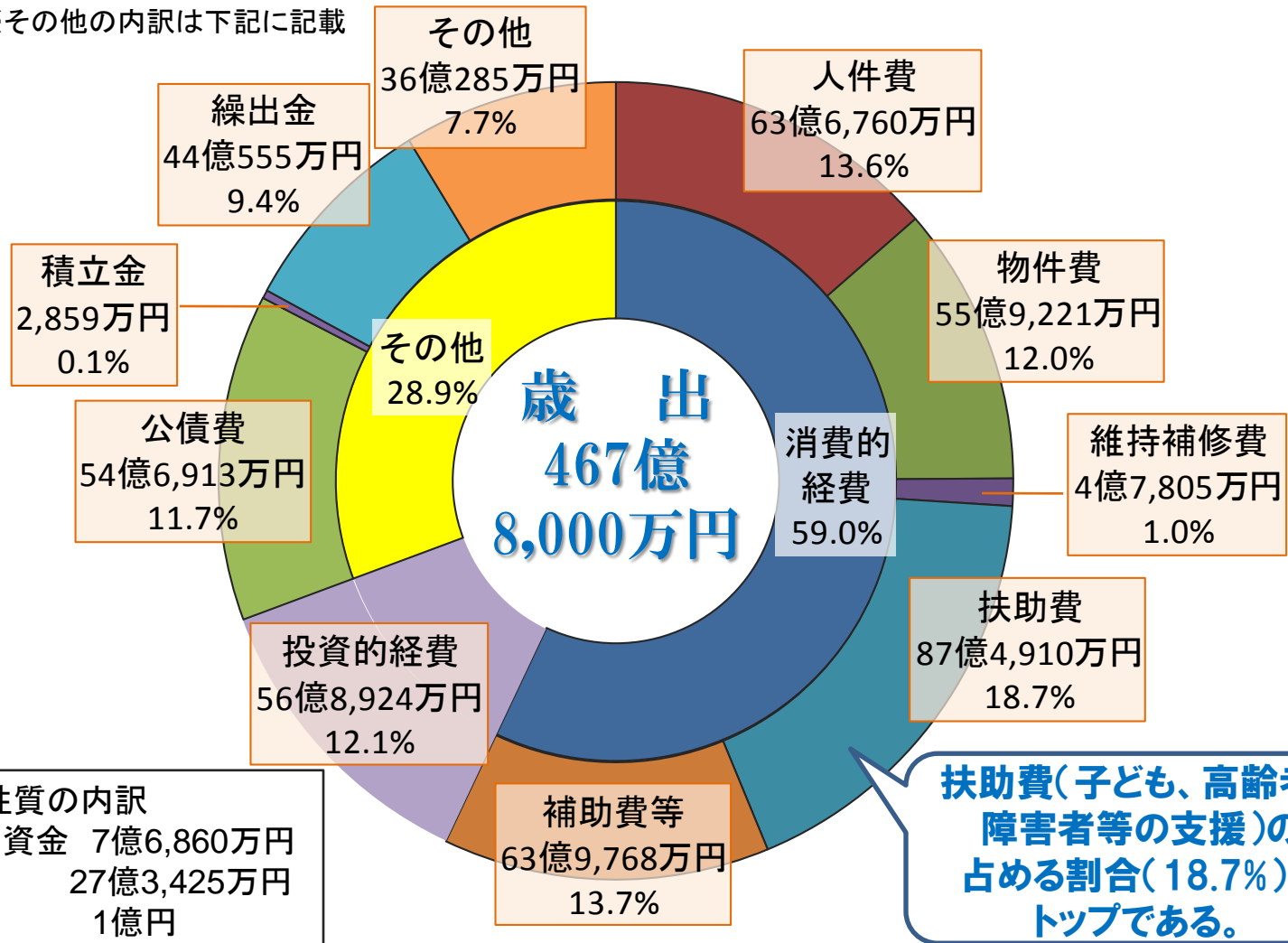
	20年度末 (決算額)	21年度末 (決算額)	22年度末 (決算額)	23年度末 (決算)	24年度末 (決算額)	25年度末 (決算額)	26年度末 (見込)	27年度末 (見込)
一般会計	563.8	551.5	549.1	534.9	513.5	491.4	469.1	450.7
特別会計	228.6	228.7	225.3	221.6	217.2	212.1	208.3	202.7
企業会計	241.1	232.2	221.5	208.8	198.0	189.1	190.3	180.6
合計	1,033.5	1,012.4	995.9	965.3	928.7	892.6	867.7	834.0

※繰越事業に係る市債を含む

(6) 平成27年度 一般会計歳出予算の状況

◆性質別歳出予算

※その他の内訳は下記に記載



主な歳出予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

人件費	63億6,760万円	+ 3,907万円	+ 0.6%	国勢調査実施に伴う報酬等の増
物件費	55億9,221万円	+ 4億5,945万円	+ 9.0%	校舎ガラス飛散防止フィルム貼付、番号法対応費等の増
扶助費	87億4,910万円	+ 7億129万円	+ 8.7%	子ども・子育て推進費、児童支援費の増 等
補助費等	63億9,768万円	+ 5億3,669万円	+ 9.2%	臨時給付金、志太広域事務組合負担金の増 水守区画整理事業補助金の減 等
投資的経費	56億8,924万円	+ 3億3,981万円	+ 6.4%	藤枝地区公民館建設工事、人工芝グラウンド整備工事、 葉梨小学校増築工事、蓮華寺池公園再整備工事等の増
繰出金	44億555万円	+ 4億1,207万円	+ 10.3%	国民健康保険事業、介護保険特別会計繰出金の増
公債費	54億6,913万円	▲ 2億6,864万円	▲ 4.7%	元利償還金の減

(7) 各種指標の推計

市債残高の縮減により 健全化判断比率は**着実に改善!**

項目	H20 (決算)	H26 (見込)	H27 (見込)	H20との 比較	備考
実質公債費比率	15.7	12.3	11.8	▲3.9	健全な状態! (25%以上は早期健全化が必要)
将来負担比率	113.6	57.3	47.0	▲66.6	着実に改善! (350以上は早期健全化が必要)
経常収支比率	88.9	88.6	89.7	+0.8	全国平均(90.2)よりGood!

○実質公債費比率・・・借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合（志太広域事務組合など）が対象となる

○将来負担比率・・・市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化し、財政への圧迫度を表す

○経常収支比率・・・自治体の財政構造の弾力性を表す比率。扶助費、繰出金等の経常経費に市税等の一般財源がどの程度充当されているかを見るもの。

(8) 平成27年度 組織・職員数に関する方針

行政組織編成方針

藤枝の「まち・ひと・しごと」に活気を生み出す“実効的な組織”

「まち」を元気にする組織

⇒ 魅力ある都市空間、健全な都市基盤をつくる

〔都市基盤の統括責任者を配置、都市建設部の所管を拡大、中心市街地の活性化体制を強化〕

「ひと」と「ひと」をつなぐ組織

⇒ 安心できる子育て、健やかな暮らしをまもる

〔高齢者支援、生活自立支援、子育て支援の体制を拡充、3地区で「地区交流センター」を試行〕

「しごと」の場を創り、支える組織

⇒ 活力ある地域経済、起業・創業の環境をきずく

〔商工業における起業、創業支援体制を拡充、エコミックガーデニングや農商工連携を推進〕

政策目的に応じて効果的に施策を展開する組織

〔新公共経営を企画部門(企画財政部)に移して展開・発信、地方創生の統括指揮官を配置〕

《主な改編内容》

H26体制	H27体制	取組の考え方
総務部 市長公室 企画財政部	総務部 企画財政部	新公共経営の考え方を政策形成の場面に活かし、その成果を魅力につなげ、内外に向けてシティプロモーションを展開する。
部など	職・課など	取組の考え方
企画財政部	都市創生戦略監 【新設】	選ばれるまちであり続けるため、「まち・ひと・しごと」の創生に向けた施策を効果的に展開する。
	企画経営課【統合】	新公共経営により組織の力を高め、質の高い市民サービスの提供と創造的な政策づくりを進める。
健康福祉部	地域包括ケア推進室 【新設】	地域で介護・医療・住まい・生活・介護予防を包括的に提供し、市民の健やかな暮らしを支援する。
産業振興部	創業支援室【新設】	本市を選び、定住を決める鍵となる雇用を創るため、地域ビジネスや起業・創業へのチャレンジを支援する。
都市建設部	基盤整備担当理事 【変更】	生活に欠かせない道路や橋などを総合的に整備し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進める。
	花と緑の課【移管】	身近な公園や緑地をまちの大切な景観として整備し、魅力ある都市空間づくりを進める。

職員定員管理方針

人口千人当たり
県内で最も
少ない職員数

予定職員数(新・定員適正化計画による定員管理)

(単位:人)

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (予定)	
目 標 数	759	729	729	728	726	724	
実 職 員 数	742	728	732	726	723	719	
増 減	単年度	—	▲14	4	▲6	▲3	▲4
	累 計	—	▲14	▲10	▲16	▲19	▲23

※各年度4月1日現在の職員数(特別職、教育長、消防本部、病院職員、再任用職員を除く)

新・定員適正化計画(H23~H27)に基づく定員管理 【基本的な考え方】 ～職員の高揚と組織の活性化～

- ①経費の最大活用で質配分と職員間の業務量の適正化
- ②メリハリのある業務に向けた人事配置
- ③重点施策の推進体制強化に質の高い市民サービスを提供
- ④市民にとって真に必要な業務への職員の重点配置
- ⑤“適財適所”の人事配置

<職員数削減の目標>

(H22)		(H27)
計画前	▲18人	最終年度
742人		724人
実職員数(予定)		
742人	▲23人	719人

2. 重点施策別主要事業・組織



I 「いのちと子ども」を未来につなげる

危機管理体制の強化

☆安全な施設を安心して使える!!

■危機管理体制の充実

【新】公共施設等の保全・緊急修繕等
への迅速な対応 5,000万円

予期せぬトラブルや想定外の修繕拡大等に対応する予算を確保し緊急案件に機動的に対応

庁内サポートチームを編成して迅速な対応



【新】空き家対策事業《人口増加プロジェクトワークショップ提案事業》 300万円

防災、防犯や衛生、景観的に問題となる空き家の実態調査の実施

■防災対策の充実

●原子力災害への備え

【新】広域避難ガイドラインの策定

70万円

原子力災害避難ガイドラインを策定

【拡】安定ヨウ素剤の整備

80万円

UPZ圏外の40歳以上の方の安定ヨウ素剤を確保し、市民全員分の備蓄完了

備蓄： 146,706人分



●地震への備え

わが家の地震対策の推進

○住宅・建築物の耐震改修への支援

7,431万円

わが家の専門家診断委託(150件)
木造住宅補強工事費助成(100件)
高齢者追加助成(50件)など

【拡】耐震シェルター設置への支援

300万円

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅への耐震シェルター設置費用の助成
65歳以上の高齢者のみの世帯の条件を廃止し対象者を拡大!

○防災ベッド設置への支援

100万円

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅への防災ベッド設置費用の助成
上限20万円

○災害時要援護者のための家具転倒防止対策への支援

500万円

対象:高齢者や障害のある方
6,000円/箇所 3箇所まで

【新】静岡県総合防災訓練の実施

3,000万円

静岡県、焼津市と共催で総合防災訓練を実施

実施日 平成27年8月30日

会場 藤枝総合運動公園

【拡】学校校舎ガラスの飛散防止対策

9,274万円

小学校、中学校の校舎の窓ガラスの飛散防止のため飛散防止フィルムを貼付

対象：小学校 9校

中学校 8校

【拡】集会所等の防災対策への支援

50万円

地域防災拠点の機能充実を図るために、耐震性のある集会所等に対し、電源切替工事などの防災対策工事を支援

補助率1/2



●風水害への備え

○急傾斜地の崩壊対策事業

1,520万円

指定区域の県において実施される崩壊対策事業への負担金(4箇所)
急傾斜地の崩壊防除に向けた急傾斜地の指定促進(1箇所)

○治山事業

2,135万円

土砂の流出、洪水、土石流等による災害を防止するため、荒廃山地又は
荒廃の恐れのある山地に対して整備・保全の工事を実施

河川整備

○河川・水路改良

1億7,500万円

市内一円の水路整備を行い、生活基盤の安定を図る

○河川維持事業

1,000万円

河川の流下能力や調整能力を確保するため準用河川及び調整池の堆積土砂を除去

子育て支援の充実

☆子ども・子育て支援の新制度スタート！

■藤枝型待機児童ゼロ作戦

- ・保育の受け皿拡大！5年間で750人超の児童数増員！
- ・放課後児童クラブは小学6年生まで拡大！

◆計画の期間

H27～H31の5か年

◆幼児期の教育・保育施設整備計画

- ・保育所の新設 3か所 201人
- ・幼稚園の認定こども園化 5か所 348人
- ・小規模保育所の新設 14か所 204人

◆放課後児童クラブ整備計画

放課後児童クラブの室数を1.4倍に
25室→35室 861人→1,242人



■子育て環境の充実

【拡】放課後児童クラブの充実

1億4,520万円

クラブ数: 19クラブ→21クラブ
対 象: 小学校3年生→6年生
児 童 数: 786人→941人(+155人)



【新】保育施設等の環境整備への支援

450万円

保育ママ及び認可外保育所のうち新制度に移行する施設に対する支援
補助対象: 台所の改修、間仕切り設置、畳替え等
限度額: 家庭的保育事業 375千円/か所(2か所)
小規模保育事業所 375千円/か所(10か所)

【新】“子育てするなら藤枝”プロジェクト

100万円

《人口増加プロジェクトワークショップ提案事業》

「子育てしやすいまち藤枝」のPRのための子育てイベントポスター等を作成

【新】“れんげじスマイルホール”のオープン

昼間は子どもスペースとして無料開放。

親子ふれあい体験教室などの実施

利用時間：午前9時～午後5時

※子どもスペース以外は、
これまで通りの利用が可能



【新】安全で安心して遊べる遊具への更新

3,000万円

対象：滝ヶ谷公園
五十海第一公園
新南新屋公園



【新】水守地区の公園整備

1,900万円

水守中央公園(1.07ha)、水守東公園(0.2ha)、水守南公園(0.2ha)、水守西公園(0.2ha)
実施設計：H27
公園整備工事：H28～H30
総事業費：3億7,600万円

4つの日本一に向けた取組

■健康・予防日本一への取組

《組織》地域での健やかな暮らしを支援

- ・介護福祉課内に地域包括ケア推進室を設置

【新】徳川家康歴史探訪ウォーキング

69万円

健康スポット20選と家康公顕彰400年関連スポットを繋げるウォーキングイベントを開催

開催日：平成27年5月23日（土）（予定）

【新】総合運動公園多目的広場を人工芝に整備

1億6,900万円

いつでも誰でも使える「多目的広場」の整備による健康づくりの推進

面積9,000㎡

平成28年3月オープン予定

【拡】地域包括ケアシステムの構築

58万円

住み慣れた地域で在宅を基本とした生活の継続を目指し、医師会や
安心すこやかセンター等による専門部会を設置

【新】認知症相談支援体制の充実

256万円

市内7圏域安心すこやかセンターに初期集中支援チームを設置し、サポート医と
連携した相談支援体制を構築

【拡】歯周疾患を減らすための検診を拡大

600万円

口腔内検査の対象年齢の拡大

40歳・50歳・60歳・70歳の10歳刻みを40歳から70歳までの5歳刻みに拡大

■教育日本一への取組

●学校教育の充実

【拡】特別支援教育の推進

2,198万円

学校生活における特別に配慮の必要な子どもへのきめ細かな対応
特別支援学級設置校 14校→17校 **全校に配置完了**

【拡】外国人児童の学校生活への適応指導

159万円

市内小中学校に通う外国籍で日本語が話せない児童生徒への適応指導
巡回指導員 1名増員
1人→2人

【拡】子ども未来応援事業

75万円

《人口増加プロジェクトワークショップ提案事業》

ふじえだマナー標語10ヶ条の作成
中学生を対象とした藤枝版マナーブックの作成

● 学びの環境の充実

○ 葉梨小学校校舎増築工事

1億5,140万円

構造：軽量鉄骨造2階建 696㎡ 1棟6教室

供用開始：平成28年4月

【新】小学校トイレの洋式化

1,000万円

H27対象校：青島小学校、高洲小学校

○ 藤枝地区公民館の整備（仮称：藤枝東公民館）

5億9,980万円

構造：鉄筋コンクリート造2階建 1,496.87㎡

行政センター・子育て支援施設 等

総事業費11億4,600万円

供用開始：平成28年4月



■環境日本一への取組

●ごみを減らす対策の推進

【新】ごみ分別アプリの共同開発(静岡産業大学との官学連携)

30万円

若年世代でも簡易かつ適確にごみ分別ができる環境の整備

【拡】家庭系生ごみの回収資源化事業

4,500万円

回収世帯：10,000世帯 → 13,000世帯

拡大地域：原地区、高柳地区

※H25全国10万人～50万人都市での市民1人
1日あたりのごみの排出量10位→5位に躍進



●新エネルギー・省エネルギーの推進

【拡】我が家のエコ支援事業

3,800万円

- ・住宅用太陽光発電システム設置費補助 補助額:1万円/kw 上限4万円 500件
- ・新エネルギー機器等設置費補助 補助率:1/10 上限5~15万円 105件
- ・【新】環境配慮型住宅改善費補助 補助率:一律5万円 120件

●市民啓発の推進

【新】環境マイレージ制度の創設

150万円

市民の環境に対する意識向上や環境に配慮した行動のきっかけとなるよう
環境マイレージ制度を創設

○次世代環境リーダーの育成

70万円

クリーンエネルギーの先進地であるハワイ州において、研究機関の視察や
大学での講義等の研修を実施

対象:市内高校に在学中の高校生

開催時期:8月(予定)

■交通安全日本一への取組

●市民啓発の推進

交通安全日本一の推進

550万円

【新】交通安全マイレージの創設

市民の交通安全の習慣化や交通安全に対する意識向上を図るための交通安全マイレージを創設

【新】高齢者と子どもの合同交通安全教室を実施《市民政策提案事業》

高齢者が孫や地域の子どもと一緒に参加する交通安全教室を実施

【拡】自転車マナーアップ教室を実施

自転車マナー向上のための交通安全教室を実施

対象：市内6校の高校生

2校はスタントマンによる教室



●交通安全施設等の整備

【新】緊急合同点検結果により通学路を整備

3,000万円

通学路の緊急合同点検実施に伴う要対策箇所(19箇所)の安全対策を実施

○葉梨稲葉線の歩道を整備

8,600万円

県の河川改修事業の橋梁架け替えに合わせた歩道整備

事業期間:H26~H29 総事業費:3億1,600万円

○ゾーン30交通安全施設の整備

700万円

藤枝警察署と連携し、速度制限(30Km/h)の
区域設定や路面表示等の整備

対象地区:藤枝小学校周辺地区



安定的な医療の提供

☆地域の中核となる救急センターへ!!

【新】救急センターの本格稼働

志太榛原地域の救急医療の中核を担う
救急センターの安定稼働を図る
稼働時期：平成27年4月
入院部門(12床)の受入開始

【新】がん治療体制の充実

放射線治療機器(リニアック)による
治療開始
稼働時期：平成27年6月(予定)



女性の活躍を推進

☆男女がともに元気に活躍する社会づくり!!

【新】「ふじえだ女性活躍推進フォーラム」の開催

70万円

女性が活躍する多様性(ダイバーシティ)を活かした活力ある社会づくりの意識を醸成

【新】「婚楽セミナー」の開催

50万円

《人口増加プロジェクトワークショップ提案事業》

仕事と家庭(結婚、出産、子育て)を両立させ、男女が生き生きと暮らすライフスタイルを考える

時期:平成28年1月(予定) 会場:ホテルオーレ

Ⅱ 「人と人、都市と都市」をつなげる

市民活動の推進

☆地域との連携推進に向けた機能強化!!

【新】地区行政センターと公民館の機能の見直し

800万円

地域との連携・協働を推進するための体制整備を行い、コミュニティ・防災・行政サービスの拠点機能の強化を図る。

※「地区交流センター」として3地区で試行
地域活動推進主任の配置
試行地区：瀬戸谷、青島北、高洲



【拡】ディーセントライフの推進

90万円

団体や個人が市民活動できる場を提供するため、分野別ボランティア登録制度を開始

広域連携の推進

☆近隣市との連携事業の推進!!

【拡】東海道街道文化創造事業の実施

250万円

東海道の歴史・文化を共有する島田市と連携、協働して事業を実施し、歴史文化資源を活かした地域の振興を図るための負担金

藤枝市事業費 745万円

妖怪五十三次と妖怪ワールド、徳川家康公顕彰400年事業 等の実施

【新】こどものしあわせ支援事業の実施

20万円

児童虐待と家庭内暴力の防止・撲滅及び発達障害の支援などの児童問題についての啓発

※焼津市及び島田市との連携による3か年事業

事業費 180万円(年間)

講演会の開催、啓発冊子作成

○広域観光の推進

25万円

焼津市、島田市、川根本町と連携し、広域による国内外への観光プロモーションにより、本地域への誘客拡大を図る

事業費 830万円

○志太広域事務組合への負担金

23億2,100万円

◎一般会計 65億8,300万円

◆廃棄物処理施設計画費 7,822万円

・クリーンセンター

環境影響評価、用地測量等 7,022万円

・し尿処理場

新施設整備基本計画策定 800万円

◆新斎場建設費 18億1,273万円

火葬炉設備 3億3,348万円

建築、電気・空調等設備、外構等 14億7,925万円

◆消防施設費 1億7,014万円

水槽付消防ポンプ車2台、支援車1台購入



国際交流、国内交流の促進

☆姉妹・友好都市とのより深い交流!!

【新】おもてなし力の強化

300万円

姉妹・友好都市との交流を中心に、国内外からの来訪者を迎える体制づくりを強化

静岡産業大学と連携しての観光通訳ボランティアの育成やマップ等の多言語化を実施

○産業交流の推進

208万円

交流都市等の産業祭や物産展等に相互に参加し、農産物や特産品販売と事業者との交流、連携を強化

岐阜県恵那市、沖縄県宮古島市
埼玉県深谷市、北海道恵庭市



多様な主体との連携

☆新たな連携でまちづくりを推進!!

【拡】大学連携の更なる推進

100万円

産官学が一体となって調査研究を行い、魅力ある人づくり・まちづくりを推進

【新】香り高い藤枝茶の消費拡大事業

100万円

関係機関、茶業者、学生等からなる組織を発足し、販路開拓やPR活動を実施



Ⅲ まちの「宝」を活かし、各方面につなげる

シティ・プロモーションの推進

☆ “藤枝” の積極的な売り込み!!

【拡】藤枝の魅力をさらに発信

1,200万円

志太三市の連携によるシティプロモーション事業の展開
「“花”を冠するまち ふじえだ花回廊」をテーマに、花をツールとして情報発信を実施

【新】サッカーのまちシティドレッシング

550万円

「サッカーのまち藤枝」の“見える化”“魅せる化”のため、藤枝駅及び総合運動公園に統一的なPRシール、バナー等を設置

【拡】戦略的広報を展開

2,040万円

- ・【新】ホームページリニューアルの実施
- ・FM局、SNS、新聞等、多様な情報媒体を活用した情報発信

藤枝の“宝”に磨きをかける

☆蓮華寺池公園の魅力が更に増します!!

○市民の憩いの場“蓮華寺池公園”の魅力アップ

2億4,930万円

蓮華寺池ホールの改修やトイレ設置工事等、
西高跡地を一体的に活用した蓮華寺池公園の
整備

事業期間：H25～H28

総事業費：9億1,020万円

※スターバックスH28.1オープン予定



○瀬戸谷ライフル射撃場の電子標的システムの整備完了

2,340万円

2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致等に向けて
国際基準に適合した電子標的を導入 H27:15台(H26:11台)

【新】藤枝型トップアスリート育成アシストシステムの創設

200万円

地域指導者らのレベルアップによる、中長期の小中学生の選手育成

講師：一流指導者

座学講習会、実技講習会を開催

○内野本陣の整備の完了

6,200万円

岡部宿内野本陣史跡の整備

事業期間：H23～H27

総事業費：3億4,616万円

H27：案内所兼事務所棟新築

柏屋簡易改修



人を呼び込む仕掛けづくり

☆空港アクセスバス運行開始!!

【新】空港アクセスバスを運行

1,700万円

藤枝駅と静岡空港を直結するアクセス
バスを運行

空港運用時間の延長に合わせて
1日8往復16便を運行
運行開始時期：H27.6(予定)



【新】地域おこし協力隊の活用

600万円

中山間地域の活性化及び観光施策によるまちの活性化

公募:2名 7月活動予定

【新】2020年東京オリンピック・パラリンピック

50万円

合宿等の誘致を推進

大使館、オリンピック組織委員会、サッカー協会・ライフル協会・柔道連盟等を通じた誘致活動や国外の誘致活動を実施

【拡】“藤枝おんぱく”の開催

300万円

開催日:4月18日～5月30日

プログラム数:42→70以上

来訪者目標:4,500人 (H26:3,500人)



☆徳川家康公顕彰400年記念事業



【新】「徳川家康と志太展」の開催 390万円

藤枝や志太地域にも足跡を残した徳川家康公や家康ゆかりの人物に関連した歴史資料の紹介

会場：郷土博物館での企画展

開催期間：平成27年11月3日～平成27年12月13日



【新】朝比奈ちまきづくり体験 20万円

開催日：平成27年10月25日（日）（予定）

開催場所：市民体育館・武道場ほか フードスマイルフェスティバル内で実施

東海道商店街トレジャーハンティングの実施 110万円

旧東海道の歴史・文化的資産と蓮華寺池公園を活かした参加型宝探しイベントの開催

開催期間：9月～11月

IV まちの「活力」を高め、将来につなげる

市内経済の活性化（産業の振興）

■ 農業の振興

【新】農地の集積と集約化を推進 97万円

農地中間管理機構に農地を提供した方への
協力交付金の支給等 対象地区：広幡地区（予定）

【新】将来を担う農業者への支援 710万円

地域の将来を担う中心的な農業者に対する
農業用機材導入費等への支援
対象：3人 補助率：3/10（上限300万円）

【拡】鳥獣被害を防止する 1,620万円

- ・【新】地域ぐるみで有害鳥獣対策を実施する地区協議会に対する支援
実施地区：花倉地区（予定）
- ・有害鳥獣の捕獲 等



■商・工業の振興

《組織》円滑な起業や創業を支援

- ・産業政策課内に創業支援室を設置

【新】地域ビジネス創出・支援を推進

40万円

創業促進と起業率の向上を図るため、ビジネスセミナーや事業承継・事業引継ぎ支援セミナーや相談会を実施

【新】産業財産権の登録を新たに支援

100万円

特許、実用新案、意匠、商標権の出願料、登録料を助成

補助率：1/2

補助限度額：20万円

【拡】「藤枝ブランド」戦略の推進

280万円

・台湾でのお茶、しいたけ等のキャンペーンイベント、商談会に出展

○エコノミックガーデニングの推進

54万円

エコノミックガーデニング支援センター「エフドア」を拠点に更なる企業支援の充実と地域経済の活性化を図る



○農商工連携・6次産業化等の推進

410万円

商工会議所等と連携し、「農商工連携・6次産業化推進ネットワーク」を組織し、地域資源を活用して6次産業化に取り組む農林・商・工業者への支援を実施

都市空間の創造

☆藤枝の玄関口の再整備!!

【拡】 駅前一丁目8街区市街地
再開発事業への支援

事業期間: H23~H29 8億9,700万円
総事業費: 90億494万円
H27: 除却工事、建築工事、権利変換

【新】 駅北口駐車場を整備

3億2,700万円
事業期間: H27~H29
総事業費: 5億4,134万円、面積: 6,822㎡
駐車場: 自走式立体駐車場2~6階、
屋上部分、215台確保予定
H27: 保留床の取得 3,583㎡



都市基盤の充実

☆住みやすい都市基盤の継続的な提供！！

《組織》健全な都市基盤を維持し、安全で安心なインフラを提供

- ・都市建設部に基盤整備担当理事を配置
- ・「花と緑の課」を産業振興部から都市建設部に移管

【新】都市計画道路の見直し

262万円

パーソントリップ調査結果等に基づき、都市計画道路の必要性を再検証

【拡】自主運行バスの利便性向上

1億2,330万円

水守西焼津線をバス停型デマンドタクシーに変更

【再掲】安全で安心できる遊具への更新

【再掲】水守地区の公園整備

【新】借上型公営住宅を整備

2,750万円

借上型公営住宅整備に伴う建設費に対する支援

2箇所:本町一丁目 鉄筋コンクリート造3階建9戸

郡一丁目 鉄筋コンクリート造3階建12戸

主要幹線道路の整備促進

6億3,400万円

焼津森線4車線化に伴う取付市道の整備

仮宿高田線:水路工(L=70m)、用地買収(A=1,620㎡)ほか

三輪立花線:橋梁下部工(N=1基)、用地買収(A=844㎡)、物件補償(N=6件)

内瀬戸大西町線:工事延長(L=120m)、用地買収(A=362.9㎡)、物件補償(N=10件)



人口増加プロジェクト

◆定住人口拡大推進	500万円
◆「ふじえだ女性活躍推進フォーラム」の開催	70万円
◆「婚楽セミナー」の開催	50万円
◆子育て支援	100万円
◆藤枝おやこ館への支援	620万円
◆健康・予防日本一の推進	745万円
◆不妊治療への支援	1,800万円
◆勤労者の住宅建設資金への支援	24億3,052万円
◆勤労者の教育資金への支援	1億6,377万円

◆農業体験	30万円
◆デュアルライフの推進	50万円
◆空き家バンクの推進	200万円
◆グリーン・ツーリズムの推進	150万円
◆買い物支援サービスの支援	150万円
◆借上型公営住宅を整備	2,750万円
◆駅前一丁目8街区市街地再開発事業への支援	8億9,700万円

市役所全体の更なる「質」の向上

☆職員力を市民のために最大限発揮!!

《組織》地方創生に向けて全庁を統括した施策を展開

- ・企画財政部内に都市創生戦略監を配置

《組織》一貫した体制で政策を形成して実現

- ・市長公室を廃止し、秘書課を総務課へ、行政経営課と広報課を企画財政部へ移管
- ・行政経営課と企画政策課を統合し、企画経営課を設置

藤枝型新公共経営の推進

職員の育成と組織の生産性の向上により、上質な市民サービスを提供



■改革改善意欲の醸成と目的・成果志向の経営体制

「新公共経営実行計画（第1期）」H24～H26

- ・改革改善意欲の高い職員の育成 ～ 1人1改善運動、新公共経営PT
- ・PDCAサイクルによる行政経営 ～ 行政評価システム、全事業の総点検



「仕組み」を「職員の意識」に浸透

＜時代の要請＞

人口減少社会に対応した地方創生

「新公共経営実行計画（第2期）」H27～H29 ※策定中

- ・職員の意識を変える ～ 豊かなコミュニケーションで組織連携
- ・組織の雰囲気を変える ～ 適切なマネジメントで組織管理

連動



■風通しのよい職場で組織目標を共有し、一丸となって実行する市役所

創造的な“仕事を楽しむ” 創造的に“仕事を楽しむ” ⇒ 地方創生の推進
組織の目標が見える化し、共有して“仕事を楽にやる” ⇒ 改革改善の推進

全体最適



【拡】職員の育成

1,000万円

スペシャル・ジェネラリストを目指す職員を育成する研修を実施

項目	内容
「職員修練道場」の開催	部長級の職員が自らの職務を通して培った知識及び経験等について講義
「職員寺子屋」の開催	専門的知識を有する職員が実務の知識を伝授 講師自身のプレゼンテーション能力向上を図る
「キャリアデザイン研修」の開催	職員が「なりたい自分像」を描き、自分のキャリアを築いていくための研修を実施
「OJT研修」の開催	管理監督者等を対象に「職務を通じて職員を育てるOJT研修」を実施 各職場で計画的、戦略的なOJTを推進
「職員の資格取得」の支援	業務に必要な資格等を取得した職員に取得経費の一部を助成
「職員の自主的派遣研修」等の支援	国内外先進都市の行政手法等の視察の支援 専門研修及びスキルアップ研修の支援

市の将来を定める各種計画の策定

●平成27年度に策定する計画

- ◆第5次総合計画後期計画(H28～H32)
- ◆藤枝型発達支援システム構築のための行動計画(H28～H32)
- ◆健康増進計画(H28～H32)
- ◆藤枝市スポーツ推進計画(H28～H32)
- ◆子ども読書活動推進計画(第三次:H28～H32)
- ◆中山間地域活性化推進計画(H23～H32)(中間見直し)
- ◆商業振興戦略(H23～H32)(中間見直し)
- ◆観光交流基本計画(H28～H32)
- ◆企業立地推進ビジョン(H28～H32)
- ◆環境基本計画(H28～H32)

市民政策・若手PT提案を取り入れた事業

市民政策提案と市役所若手職員によるプロジェクトチーム等による提案の中から予算化したもの

市民政策提案事業

事業名	内容	予算額
高齢者と子どもの合同交通安全教室の実施	高齢者が孫や地域の子どもと一緒に参加する交通安全教室を実施	ゼロ予算

新公共経営プロジェクトチーム提案事業

事業名	内容	予算額
課内マニュアル活用の促進	行政サービスのムラを無くし、業務の効率化を図るため、必要な業務からマニュアル化を進め、目的意識の見える化と共有を図る。	50万円



人口増加プロジェクトワークショップ提案事業

事業名	内容	予算額
“子育てするなら藤枝”イメージ定着プロジェクト	子育て応援イベントの年間を通じた開催をポスター等でPRし、子育てしやすいまちのイメージの普及・定着を図る。	100万円



行政サービス評価委員会の指摘・提言の反映

毎年度、施策・事業を検証・評価し、次年度の予算や組織に反映

《テーマ》 健康・福祉の充実による定住促進

＜主な提言＞

- ・ 放課後児童クラブの計画的な整備と質の向上
- ・ 安心して子どもを預けられる保育所の確保
- ・ 高齢者の自立と介護を支援する施策の構築



＜予算への反映＞

- ・ 放課後児童クラブの充実 **1億4,520万円**
家庭的な環境(空調、図書等)の整備、対象拡大(小3⇒小6)に伴う施設整備
- ・ 保育施設等の環境整備への支援 **450万円**
待機児童ゼロに向けた保育所整備等の事業推進
- ・ 認知症相談支援体制の充実 **256万円**
安心すこやかセンターによるサポート医と連携した相談支援体制の充実

＜組織への反映＞

- ・ 地域での健やかな暮らしを支援する「地域包括ケア推進室」を設置
- ・ 子育て世代の安心した暮らしを支援する「児童課」の体制を強化

「選ばれるまち ふじえだ」づくりのために

市民の皆さまとともに頑張ります

藤枝市長 北村正平